

改めて、 神山町の 地方創生って どう進んで いるの？



つなプロ報告会 第10回

2022年11月24日(木) 19:00~21:00

神山町創生戦略「まちを将来世代につなぐプロジェクト」の進捗をお伝えする、一般公開の報告会を開催します。

第10回目を迎える今回は、「改めて、つなプロはどのように進んできたか？」を簡単にではありますが、一緒におさらいしながら最近の動きをお伝えします。

長く神山町に住んでいる方、最近移り住んできた方、今はまちを離れている方、学生や若いひと、歳を重ねたひと、どなたでも、どうぞお集まりください。

報告内容

- ひとづくり
高校プロジェクトの積み重ねで生まれてきた状況
- 循環の仕組みづくり
農業研修生のいまと卒業後について、
フードハブ・プロジェクトより
- すまいづくり
今年度から神山町で取り組んでいる、
景観計画策定に向けた動きについて など

現地

神山町農村環境改善センター 3階 (神山町神領字中津 132)

サテライト

上分公民館 (神山町上分字川又西 13)
阿川公民館 (神山町阿野字地ノ平 138-1)
里山みらい (神山町鬼籠野字東分 3-1)

*新型コロナウイルス感染対策として、マスク着用・手指消毒にご協力ください。

！ オンラインでも参加いただけます

Zoom ウェビナー・YoutubeLive にて
当日、配信を予定しています。
参加用 URL は右記よりご確認ください。
イン神山「神山日記帳」▶



まちを将来世代につなぐプロジェクトとは

人口急減、超高齢化。2015年当時、神山町ではこのまま何も手を打たなければ、2060年頃に人口が1,100人程度まで減り、人々が暮らし続けることや自治体としての維持が難しくなることが予想されました。

成り行きに身を任せるのではなく、このまちで人が豊かに暮らしていける状況をつくる。そのために、40歳代以下の役場職員や、地域住民らで約半年間の話し合いを重ね、神山町では、2015年に創生戦略「まちを将来世代につなぐプロジェクト（通称：つなプロ）」を策定。スピード感と柔軟性を持って取り組んでいくための一般社団法人「神山つなぐ公社」を設立し、多くのまちの人や、学校、NPO、民間機関との協働で進めてきました。

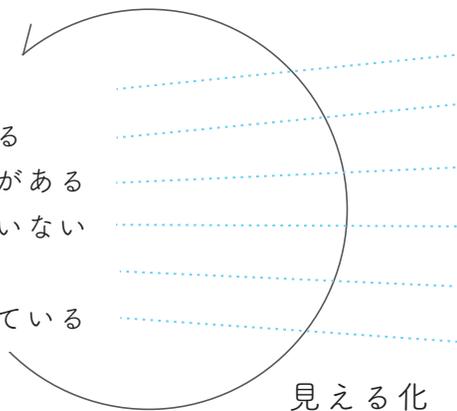
つなプロで目指しているのは、将来世代が自分と地域に「可能性が感じられる」状況の実現です。そのために必要な施策領域を6つ設定。横断的に取り組みを重ねています。



▲たとえば。
神領・大埜地にある集合住宅は、つなプロ第1期（2016～2020年）において「すまいづくり」の施策として開発・整備を行いました。

「可能性が感じられるまち」の構成要素

- ・ 人がいる
- ・ いい住居がある
- ・ よい学校と教育がある
- ・ 多様な働き方と仕事がある
- ・ 富や資源が流出していない
- ・ 安心な暮らしがある
- ・ 関係が豊かで開かれている



必要な施策領域

- 1) すまいづくり
- 2) ひとづくり
- 3) しごとづくり
- 4) 循環の仕組みづくり
- 5) 安心な暮らしづくり
- 6) 関係づくり

つなプロ報告会とは

つなプロがいま、どのように進んでいるか？進捗状況をお伝えする報告会です。町内・町外在住、出身、年齢問わずどなたでも参加可能な場として2016年からひらいてきました。参加くださるみなさんの声を聴き開催形態を見直しながら、半年に1度のペースで開催しています。

マイクを握るのは、各取り組みの担当者や、関係する方々。その顔ぶれは、役場職員、つなぐ公社メンバーのみならず、学校の先生や、高校生、地域で事業を営む人、とさまざまです。きっと、顔見知りの方が登壇することもあると思います。そんな時は、ぜひ一声かけてください。より緊張もほぐれ、報告にも力が入ると思います。

各回では必ず、参加くださった皆さんに「フィードバックシート」をお配りしています。報告を受けて、どう聞いたか？感じたことや考えなどを記入いただく用紙です。会を通じて受け取ったもの、どんなささいなことでもどうぞ、声をお聞かせください。

